

平成28年度 第10回下野市教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 平成29年1月19日(木) 午後1時35分～午後3時50分
- 2 場 所 下野市役所3階 教育委員会室
- 3 出席委員 職務代理者 三橋明美
委 員 熊田裕子
委 員 石嶋和夫
教 育 長 池澤 勤
- 4 欠席委員 委 員 長 永山伸一
- 5 出席職員 教育総務課長 坪山 仁
学校教育課長 海老原忠
スポーツ振興課長 北條 均
教育総務課主幹 古橋栄一
- 6 傍聴人 なし
- 7 議 案
議案第39号 平成29年度下野市教育相談員採用候補者の承認及び委嘱について
議案第40号 平成29年度下野市教育相談員の委嘱について
議案第41号 平成29年度下野市スクールアシスタント採用候補者の承認及び委嘱について
議案第42号 平成29年度下野市スクールアシスタントの委嘱について
議案第43号 平成29年度下野市外国語指導助手の委嘱について
- 7 協議事項
(1) 国分寺中学校・国分寺小学校・国分寺西小学校における小中一貫教育実践研究学校の指定について
- 8 報告事項
(1) 教育委員会後援等の承認について
(2) 下野市行政組織機構改革検討委員会の結果について
(3) 第11回下野市天平マラソン大会の結果報告について
- 9 その他
(1) 平成28年度小中卒業式及び平成29年度入学式の出席者について
(2) 第11回教育のつどいの冊子について
(3) 公民館まつりの開催について

三橋委員長職務代理	<p>あいさつ</p> <p>議事録署名委員の指名</p> <p>本来の順番では、永山委員長と私三橋が署名人となるところであるが、委員長が欠席のため、委員長の代わりとして熊田委員にお願いしたい。各委員の意見をお伺いする。(全委員異議なし)</p> <p>本日の議事録署名委員は、私三橋と熊田委員に決定する。</p> <p>次に、前々回の第9回下野市教育委員会定例会(出前教育委員会)及び前回の第1回下野市教育委員会臨時会の議事録について、内容の確認をお願いする。訂正等があれば発言を求める。(特になし)</p> <p>第9回下野市教育委員会定例会(出前教育委員会)及び第1回下野市教育委員会臨時会の議事録はこのとおり承認とする。</p> <p>なお、第9回下野市教育委員会定例会(出前教育委員会)については、永山委員長が署名人となっているため、こちらについても熊田委員を署名人に指定したい。各委員の意見をお伺いする。(全委員異議なし)</p> <p>それでは、第9回下野市教育委員会定例会(出前教育委員会)の署名人は永山委員長の代わりに熊田委員にお願いする。</p>
池澤教育長	<p>次に、教育長の報告を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12月28日に本庁舎では初めての仕事納め式が行われた。 ・ 1月4日に仕事始め式が行われ、平成29年のスタートをきった。 ・ 1月5日に元国分寺東小学校長の田熊武雄氏(故人)のご家族に叙位叙勲(正六位・瑞宝双光章)を伝達した。 ・ 1月6日に石橋体育センターにおいて第39回グリムの里新春書きぞめ大会が開催された。 ・ 1月8日に市内3か所(南河内公民館、グリムの館、国分寺公民館)で成人式を実施した。今年度対象者は721名であり、当日の参加者は495名で68.6%の参加率であった。 ・ 1月9日に第11回天平マラソン大会が雨天の中開催されたが事故などもなく終了した。詳細については、後ほど北條スポーツ振興課長より報告させていただく。 ・ 1月16日にJA栃木中央会の事業の一環として、JAおやまとJAうつのみやから市内小中学校へ給食用いちごの寄贈をしていただいた。 ・ 1月18日にグリムの館において教職員全体研修会を開催した。
三橋委員長職務代理	<p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>議事に入る旨を伝える。</p> <p>議案第39号から議案第43号については人事案件であり資料中に個人情報が含まれていることから、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項」の規定により非公開で行いたい。各委員の意見をお伺いする。</p> <p>出席全委員異議なし。</p> <p>それでは非公開で行うことに決定する。</p> <p>議案第39号「平成29年度下野市教育相談員採用候補者の承認及び委嘱</p>

海老原学校教育課長	<p>について」説明を求める。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>「下野市教育相談員の採用に関する規程」第6条の規定に基づき、1名を採用候補者として承認を求めるものである。</p> <p>また、承認を受けた当該候補者（新任）を「下野市教育相談員の設置等に関する規則」第3条の規定に基づき、教育相談員として委嘱したい旨の説明を行う。委嘱期間は、平成29年4月1日から平成30年3月31日まで。</p> <p>以下、非公開。</p>
三橋委員長職務代理	<p>それでは、議案第39号は原案どおり決定する。</p> <p>次に、議案第40号「平成29年度下野市教育相談員の委嘱について」説明を求める。</p>
海老原学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <p>「下野市教育相談員の設置等に関する規則」第3条の規定に基づき、教育相談員7名（再任）を委嘱したい旨の説明を行う。委嘱期間は、平成29年4月1日から平成30年3月31日まで。</p> <p>以下、非公開。</p>
三橋委員長職務代理	<p>それでは、議案第40号は原案どおり決定する。</p> <p>続いて、議案第41号「平成29年度下野市スクールアシスタント採用候補者の承認及び委嘱について」説明を求める。</p>
海老原学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <p>「下野市スクールアシスタント採用に関する規定」第6条の規定に基づき、9名を採用候補者として承認を求めるものである。</p> <p>また、承認を受けた当該候補者（再任）を「下野市スクールアシスタント設置規則」第4条の規定に基づき、学校生活支援員（介助）および（図書）として委嘱したい旨の説明を行う。委嘱期間は、平成29年4月1日から平成30年3月31日まで。</p> <p>以下、非公開。</p>
三橋委員長職務代理	<p>それでは、議案第41号は原案どおり決定する。</p> <p>次に、議案第42号「平成29年度下野市スクールアシスタントの委嘱について」説明を求める。</p>
海老原学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <p>「下野市スクールアシスタント設置規則」第4条の規定に基づき、スクールアシスタントとして39名（再任）を委嘱したい旨の説明を行う。委嘱期</p>

<p>三橋委員長職務代理</p> <p>海老原学校教育課長</p>	<p>間は、平成29年4月1日から平成30年3月31日まで。</p> <p>以下、非公開。</p> <p>それでは、議案第42号は原案どおり決定する。 続いて、議案第43号「平成29年度下野市外国語指導助手の委嘱について」説明を求める。</p>
<p>海老原学校教育課長</p> <p>三橋委員長職務代理</p> <p>坪山教育総務課長</p>	<p>【説明要旨】</p> <p>「下野市外国語指導助手設置規則」第4条の規定に基づき、外国語指導助手6名（再任）を委嘱したい旨の説明を行う。委嘱期間は、平成29年4月1日から平成30年3月31日まで。</p> <p>以下、非公開。</p> <p>それでは、議案第43号は原案どおり決定する。 ここで、会議の非公開を解く。 協議事項に移ることを告げる。 (1) 国分寺中学校・国分寺小学校・国分寺西小学校における小中一貫教育実践研究学校の指定について説明を求める。</p>
<p>坪山教育総務課長</p> <p>海老原学校教育課長</p>	<p>【説明要旨】</p> <p>下野市では平成20年度から小中連携教育の取組として、子ども未来プロジェクトやあいさつ運動等の児童生徒の交流事業に行ってきたところである。今年度から、小中連携教育からさらに一歩進めた形で小中一貫教育を推進していきたいと考えている。</p> <p>小中一貫教育の施設形態としては、南河内中学校区では義務教育学校としての一体型、南河内第二中学校区と石橋中学校区は分離型、国分寺中学校区は隣接型と分離型（国分寺東小学校）として進めていきたい。</p> <p>特に、国分寺中学校区では国分寺中学校と国分寺小学校が遊歩道を挟んで隣接していることから、一体型に近い教育を進めていくことが可能であり、小規模特認校である国分寺西小学校を含めた3校を、小中一貫教育実践研究学校として指定し、平成29年度から平成30年度の2か年の実践を通して、市内の先進的な事例として取組を研究していきたい。</p> <p>年末に小規模特認校の保護者と地域住民を対象に、適正配置の検証と小中一貫教育についての説明会を実施したが、事前に配付させていただいた議事録のとおり、小中一貫教育実践研究学校の指定については、概ねご理解をいただいているものと考えている。</p> <p>具体的な内容や進め方については、お手元の資料「協議－1」に基づき、海老原学校教育課長より説明させていただく。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>資料「小中一貫教育実践研究学校について（国分寺中学区）」に基づき詳</p>

細な説明を行う。実施の目的は、国分寺中学校と国分寺小学校の隣接した立地条件を活かし、下野市版の隣接型小中一貫教育のあり方について実践を通して研究を行うことにある。その際、適正な集団の中で多種多様な教育が受けられるように、国分寺西小も含めて実践研究を行っていく。国分寺中学校と国分寺小学校は、教職員や児童生徒が歩いて校舎間を行き来できるため、交流学习等の実践が可能であるが、国分寺西小学校については国分寺中学校と離れた立地条件であるため、公用車等を活用しながら児童が国分寺小学校へ移動し、国分寺小学校の児童と一緒に実践を行っていきたいと考えている。そのため、公用車だけではなく、バスの運用もできるよう予算措置も講じている。実践期間は、平成29年度および平成30年度の2年間であるが、実際に取り組んでいく内容は以下のとおりである。

- ①国分寺中学校区のみではなく、各中学校区で重点テーマを設定し、カリキュラムの作成や実験授業等を進めていく。
- ②児童・生徒指導面での連携を進めていくため、児童生徒の情報を小中学校で共有し、一人ひとりをしっかりから見取る支援体制の在り方の研究をする。
- ③施設を相互で貸したり、借りたりすることで、「共有」ということを考え、小学校と中学校が合同で開催できる行事などを模索していく。
- ④将来の教科担任制を想定して、主に外国語活動、図画工作(美術・技術)、家庭科、音楽、体育等において、中学校の教員により乗り入れ授業等を行っていく。
- ⑤特別活動としては避難訓練等の防災教育や安全教育(安全指導)、9年間の流れを意識したキャリア教育を行っていく。また、合唱交流や子ども未来プロジェクトの活動等については継続的に実施していく。

質疑等はあるか。

国分寺中学校と国分寺小学校、国分寺西小学校の3校を隣接型の小中一貫教育として進めていくということであるが、最終的に、国分寺地区すべての小学校は国分寺中学校との小中一貫教育を行っていくことになると思うので、国分寺東小学校だけが出遅れてしまわないよう配慮をお願いしたい。

重点目標はあくまでも国分寺中学校区として設定するため、国分寺東小学校も一緒に取り組める内容については4校合わせて実践していくことになっている。このことについては国分寺東小学校にも事前に伝えさせていただいたところである。

下野市は一貫教育を意識し、小中連携一貫教育を進めて2年目となることから、先ほどご説明した分離型、隣接型、一体型の3形で、それぞれの取組を実践していきたいと考えている。今回お示しした小中一貫教育実践研究学校と国分寺東小学校の分離型小中一貫教育は同時並行で進めていくことになる。

石橋中学校区と南河内第二中学校区ではプログラミング教育を小中一貫教育の柱として進めていく予定である。このプログラミング教育の詳細について

三橋委員長職務代理
石嶋委員

海老原学校教育課長

池澤教育長

	<p>ては、次回の教育委員会でご説明させていただきたい。南河内中学校区においては、一体型として義務教育学校を視野に入れた実践研究を進めていく予定である。</p>
熊田委員	<p>保護者説明会の議事録を見て、保護者は再編について不安に思っている印象を強く感じた。小規模特認校を希望して入学した子もいると思うので、保護者も混乱してしまう部分もある。保護者の気持ちを受け止めつつ配慮しながら進めていかなければならない。</p>
三橋委員長職務代理	<p>先ほどの説明では概ね了解を得た旨の発言があったが、再編について否定的な発言も出ていたと思うので、配慮を怠らずに進めていただきたいと思う。</p>
坪山教育総務課長	<p>説明会を地域と保護者、それぞれ2回に分けて実施した理由についてお聞きしたい。</p>
坪山教育総務課長	<p>学校適正配置推進協議会において、地域住民と保護者それぞれの立場での率直な意見を聞きたいという要望があったため、対象を分けて実施したところである。</p>
三橋委員長職務代理 坪山教育総務課長	<p>地域と比べ、保護者向けの方が意見は多かったのか。 保護者からの意見は様々あった。現在、国分寺西小学校では4学年で複式学級となっており、3名や5名で授業を行っていることから、保護者の間では不安に思っているようである。適正な人数で授業を行うには、20名から30名が必要であると考えており、少人数では競争力や切磋琢磨する力が育まれないというデメリットが大きい。</p>
石嶋委員	<p>国分寺中学校の座席の形を見れば分かるように、栃木県だけでなく全国的に学び合いという形で、対話によって学びをより深めながら授業を進めていくところが増えてきた。対話が中心となってくるため、子どもたちの人数が少ないと人間関係が固定化してしまい、いつも同じメンバーで話し合うことになってしまう。したがって、学び合いの教育を行っていく上で小中一貫教育を進めていくことはとても良い事であると思う。また、小学校や中学校の先生が交流したり、教科担任制を意識したりすることで、子どもたちだけでなく先生方の意識改革にもつながってくると思う。</p> <p>3校で小中一貫教育実践研究学校として開始してしまうと、国分寺東小学校の関係者は取り残されてしまったような印象を受けてしまい不安になると思う。フォローや説明をきちんと行っていく必要があると考える。</p>
池澤教育長	<p>国分寺東小学校は「地域とともにある学校づくり」が他の学校に比べて進んでいるため、特色ある学校づくりの1つとして学校運営協議会について先進的な事例として進めていければと考えている。隣接型と分離型を同時並行で行っていくため、一貫教育が出遅れてしまうことはないと考えているが、今後、国分寺東小学校の関連者が不安にならないよう配慮しながら進めていきたい。</p>
熊田委員 海老原学校教育課長	<p>国分寺西小学校から国分寺小学校への送迎について、公用車というのは市に2台あるバスのことを指しているのか。 学校全体の交流だけではなく、学年ごとの交流もあるため、市のバスだけ</p>

<p>熊田委員 坪山教育総務課長</p>	<p>ではなく、ワゴン車等も使用していきたいと考えている。 バス利用のための予算措置は5回分で足りるのか。 基本的には学年交流が主となり、ワゴン車での送迎が多くなっていくため、予算措置は十分賄えるものとなっている。安全には十分に配慮して送迎をしていきたい。</p>
<p>三橋委員長職務代理</p>	<p>他に質疑等はあるか。(特になし) 教育委員会として承認してよろしいか。(全委員承認) それでは、原案どおり承認とする。 ここで暫時休憩とし、開始を15時5分とする。</p>
<p>坪山教育総務課長</p>	<p>議事再開の旨を伝える。 報告事項に移ることを告げる。 (1) 教育委員会後援等の承認について説明を求める。</p>
<p>三橋委員長職務代理</p>	<p>【説明要旨】 「下野市教育委員会後援等承認一覧」に基づき、1月現在で1件の承認をした旨の報告を行う。承認した事業は後援で前年度実績のあるものである。 質疑等はあるか。(特になし)</p>
<p>坪山教育総務課長</p>	<p>次に、(2) 下野市行政組織機構改革検討委員会の結果について説明を求める。 【説明要旨】</p>
<p>三橋委員長職務代理 池澤教育長</p>	<p>生涯学習文化課の再編については、12月開催の第1回臨時教育委員会において報告させていただいたところである。今回は、1月12日の行政組織機構改革検討委員会、1月17日の庁議において説明させていただいた内容について報告をさせていただく。 以下、「文化財課新設に伴う生涯学習文化課の組織体制について」等の資料に基づき、現状及び文化財課新設の理由、生涯学習文化課の組織体制、事務分掌、文化財グループの施策等について説明を行う。 なお、12月開催の第1回教育委員会臨時会において、「生涯学習課」と「文化財課」という形で再編する旨の説明をさせていただいたところであるが、文化財に特化した課を新設するということであるため、「生涯学習文化課」の名称はそのまま残し、「生涯学習文化課」と「文化財課」として組織することで進めていく。</p>
<p>三橋委員長職務代理</p>	<p>質疑等はあるか。 生涯学習振興グループと文化振興グループを合わせたのは、市民の皆さんの学習活動を支援していくという面では共通している部分が多かったため、非常に良い統合であったと思う。そのため、「生涯学習文化課」という名称はそのまま残し、下野市の歴史文化財をさらに利活用して下野市の知名度を全国的に高め、そしてまちづくりに寄与するため、文化財課を新設するという流れの方が良いという結論に至った。 他に質疑等はあるか。</p>

坪山教育総務課長	<p>今後、機織り型埴輪が国の重要文化財として指定された場合、栃木県としては16年ぶりということになる。そのため、しもつけ風土記の丘資料館においては国の重要文化財が展示できるように、改修工事を行っていく予定である。</p>
三橋委員長職務代理 坪山教育総務課長	<p>課が分かれることになると思うが、人員配置は変わってくるのか。 文化財に特化した新たなセクションをつくるということでご理解いただいているので、人員配置については総務人事課において考えていただいているところである。現在、文化財グループということで1つであるが、今後2つになることもあるので、こちらについても総務人事課にお願いをしているところである。</p>
三橋委員長職務代理	<p>他に質疑等はあるか。(特になし) 続いて、(3)第11回下野市天平マラソン大会の結果報告について説明を求め。</p>
北條 聡 振興課長	<p>【説明要旨】 平成29年1月9日(月)に開催された天平マラソン大会について、下野市在住者の成績(上位6位までの順位とタイム等)について報告を行う。 当日はあいにくの雨天にもかかわらず、1,490名(小学1年生から79歳まで)に参加していただき、例年程度の77%の参加率となった。</p>
三橋委員長職務代理 熊田委員	<p>質疑等はあるか。 特に大きな事故等はなかったのか。</p>
北條 聡 振興課長 三橋委員長職務代理	<p>低体温症になる人も出ず、特に大きな事故なく大会を終えることができた。 当日配付されたパンフレットの協力欄に漏れてしまっている団体があったので、次回の作成時には気をつけていただきたいと思う。</p>
北條 聡 振興課長 三橋委員長職務代理	<p>次回からはそのようなことのないように注意していきたい。 他に質疑等はあるか。(特になし) 続いて、その他に移ることを告げる。</p>
坪山教育総務課長	<p>(1)平成28年度小中卒業式及び平成29年度入学式の出席者について説明を求め。 【説明要旨】 平成28年度卒業式及び平成29年度入学式について、委員の皆さんにご出席いただく学校が決定したのでご確認いただきたい。以下、学校毎に開式時間と出席者の割り当てについて説明を行う。</p>
三橋委員長職務代理	<p>卒業式：中学校3月9日(木)、小学校3月17日(金) 入学式：中学校4月10日(月)、小学校4月11日(火) 質疑等はあるか。(特になし) 次に(2)第11回教育のつどいの冊子について説明を求め。</p>
坪山教育総務課長	<p>【説明要旨】 来週1月28日(土)に開催する「第11回教育のつどい」の冊子が完成したため、配付させていただく。 以下、冊子に基づき当日の役割分担や流れ等について再確認を行う。</p>

三橋委員長職務代理 熊田委員	<p>質疑等はあるか。</p> <p>広報1月号の表紙に子ども未来プロジェクトの代表3名が写っていたが、石橋中学校の生徒が写っていなかった。子ども未来プロジェクトは中学校4校で行っているものだと思うので、全員そろった写真を使用した方が良かったのではないかと思う。</p>
海老原学校教育課長	<p>写真を撮影した日は、石橋中学校が学校開放の日だったため参加できなかったという事情がある。広報担当には、このような意見があった旨の報告をさせていただく。</p>
三橋委員長職務代理 坪山教育総務課長	<p>教育のつどいについての大きなポスターはどこに掲示しているのか。</p> <p>ゆうゆう館や公民館、図書館、自治医大駅、生涯学習情報センター等に掲示してある。</p>
三橋委員長職務代理 坪山教育総務課長	<p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて(3)公民館まつりの開催について説明を求める。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>公民館で活動している各種講座・自主サークルの発表の場として、公民館まつりが市内4公民館で順次開催される旨の報告を行う。開催日程は以下のとおり。</p>
三橋委員長職務代理 坪山教育総務課長	<p>国分寺公民館まつり：2月4日～5日</p> <p>南河内公民館まつり：2月11日～12日</p> <p>石橋公民館まつり：2月18日～19日</p> <p>南河内東公民館まつり：2月25日～26日</p> <p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>最後に、事務局より連絡事項等があれば説明を求める。</p> <p>教育委員会と市P連との懇談会の日程や議論のテーマについて説明を行う。また、総合教育会議の日程や内容について説明を行う。</p>
三橋委員長職務代理	<p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>次回の教育委員会は、2月16日(木)午後1時30分からの予定とする。本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後3時50分閉会。</p>